

「山形県多文化共生推進プラン（仮称）」の方向性について

山形県多文化共生推進プラン（仮称）

施策の柱 1

国際交流・国際協力の推進

○姉妹友好都市や県人会との交流の推進 ○若者の国際理解の促進 ○国際理解教育・外国語教育の充実

など

人的交流を通じた外国人との信頼構築

国際理解教育等を通じた幅広い世代での外国人への親近感の醸成

施策の柱 2

外国人材の受入・定着の促進

○受入企業等に対するサポート
○高度外国人材（留学生）の受入拡大・就職促進
○送出国・機関等との関係構築
○適正雇用、就労環境等の確保

など

施策の柱 3

外国人が安心して暮らせる環境整備の促進

○一元的な相談体制の整備・充実
○日本語学習環境の整備促進 ★重点★
○くらしの環境整備の促進 ★重点★

など

施策の柱 4

日本人と外国人の相互理解の促進

○地域住民との相互理解・交流の促進 ★重点★
○日本語学習環境の整備促進 ★重点★ ※再掲

など

目指す社会

日本人も外国人も、お互いを認め合い、
地域を構成する一員として共に活躍できる「やまがた共生社会」の実現



○計画期間 令和7年度（2025年度）～令和11年度（2029年度）の5年間

○計画の位置付け

第4次山形県総合発展計画（長期構想）
（R2～概ね10年間）

次期 山形県総合発展計画実施計画
（R7～5年間）

分野別個別計画

山形県多文化共生推進プラン（仮称）